プログラミング入門2

中間試験について

篠埜　功

中間試験について

- 普段の演習室で試験を行います。授業の座席表の通り着席してください。コロナ陽性、濃厚接触者、インフルエンザ等の場合、篠埜に連絡したのちzoomで受験可とします。
- 中間試験の日はHRはありません。（チュータ、TAは来ません）
- Scombで回答を提出してもらいます。
- 資料参照可とします。授業のスライド、自分のプログラムやメモなどは見て構いません。エディタやコンパイラを使っても構いません。ただし、他の人の回答を見たり、他の人と話をしたり、他の人とメールやslackなどで情報をやりとりすることは禁止です。
- 選択式です。プログラムの穴埋め問題、与えられたプログラムの画面への出力を問う問題、プログラムを書き換える問題などを出題します。
- 各回の基本課題のプログラムが書ける程度には勉強しておいてください。
- 問題の例を次ページ以下に置いています。
- 試験範囲は今日の内容までとします。
- ３限中間試験、4限キャリア教育です。キャリア教育は情報工学コースの1年生が対象です。（他学部/他コースの学生や2年生以上の学生は4限は参加しなくてOKです）

中間試験問題例1

以下のプログラムを実行したときの画面への出力結果を書け。

```
#include <stdio.h>
int main (void) {
  int x=10;
  int y=20;
  x=y=2;
  printf ("%d¥n", x);
  return 0;
}
```

解答例

2

中間試験問題例2

以下のプログラムを実行したときの画面への出力結果を書け。

```
#include <stdio.h>
int main () {
  int x=1;
  while (x < 5) {
     x = x + 1;
  }
  printf("%d¥n", x);
  return 0;
}
```

解答例

5